

令和3年2月25日市長臨時記者会見

市長説明

2月15日に発表いたしました、本市職員による生活保護費の不正支出については、桜区福祉課で起きた事案になります。

福祉行政の根幹を揺るがすこの事態にあたり、本日は私から改めて、市民の皆さまに多大なるご迷惑をおかけし、信頼を損ねる事案を起こしてしまったことを、深くお詫びを申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

改めて、市の対応と、今後の方針について説明させていただきます。

初めに、本件不正支出の調査について、桜区長より説明させていただきます。

今回桜区福祉課で発生した不正支出において、全17回の支出状況を調査した結果を報告します。

この度の調査は、本人からの8回の聞き取り及び福祉課職員からの聞き取り、さらに支出関係の書類の点検により行い、次の通りの結果が判明したものです。

生活保護費を支給するには、決定調書を作成し、課長に決裁を受ける必要があります。この処理について調査したところ、決定調書に、「印もれです」と装い、課長に決裁の押印をさせたものが8件、「課長了承済」と装い、押印なく経理担当に処理をさせたものが9件確認されました。

また、支出決定前に、誤りや処理もれがないかを、点検リストで確認しますが、口座振込の点検リストに記載があったものが1件、当該職員が点検リストに記載されないよう処理を行っていたもの

が12件確認されました。また、随時支給、窓口で現金を支給する点検リストに記載があったものが4件確認されました。

続きまして、チェック体制の不備についてご説明いたします。

一つ目として、課長・経理担当者のいずれもが、決裁過程をよく確認しないまま、押印や処理を行っておりました。

次に、口座振込の支払いの際は、決定の前に点検リストの点検を行っておりますが、支出前後の突合を行っておりませんでした。

次に、課長、経理担当が支出命令書に添付された全支給金額の内容の確認ができておりませんでした。

4つ目として、4件の不正な現金支給があり、課長、経理担当が現金支給用の点検リストには全件記載されていましたが、確認できておりませんでした。以上のように、複数の不備が判明いたしました。

また、当該職員と被保護者との関係及び不正支出に至った動機ですが、あいまいであったり、不確定なことが多く、現在も調査中ですので、今回の公表は差し控えさせていただくことをご理解ください。

今回、当区職員による重大な不正支出を起こしてしまったことにつきまして、区長として深く反省しております。今後このような事が二度と起こらないよう、再発防止策を講じ、徹底管理してまいります。

桜区からは以上です。

次に福祉部門での対応ですが、本件の発覚を受け、全区に対し、生業扶助が正規の決裁を受けているか、支給金額は限度額以内か、調書、資料などが揃っており不正な支出がないかの総点検を指示し

ました。

2月19日までに、直近5年の生業扶助費について、本件以外の不正な支出がないことを確認いたしました。また、その他の扶助の支給状況についても、不適正な支出がないかの調査を実施しております。

次に、当該職員の告訴については、不正なシステム操作、不適切な事務処理を行い、公金の不正な支出をしていたことを、当該職員も認めており、現在、告訴を視野に入れて警察に相談しております。

続いて、不正に支出された1,271万円については、桜福祉事務所長が、被保護者に対し、生活保護法第63条に基づく全額返還決定を行いました。決定通知および納付書を、被保護者あてに送付しております。

次に、再発防止についてですが、桜区長には、至急改善を行うように指示し、既に職員にパスワードの変更や、押印がないものは支出処理を行わないことを徹底し、複数名での支出前の全件点検を実施しております。さらには、ID・パスワードの適正管理などについてコンプライアンス研修を行っております。

また、生活保護制度に関わる全職員に対し、ID・パスワードの管理や、決裁行為の確認や点検を改めて徹底させ、ケースワーカー等による生活保護費の不正支出等を起こさないよう、環境づくりに努めてまいります。

本件の重大さを鑑み、徹底した原因の究明と、さらなる事実確認に基づく検証を行い、効果的な再発防止策を講じるため、2月18日、「さいたま市不適正事務処理に関するプロジェクトチーム」を

設置いたしました。二度とこのような不正な支出が起こらないよう、課題の洗い出しを徹底し、効果的な再発防止策を講じてまいります。

改めまして、このたび本市の職員が、生活保護費を不正に支出していたことについては、公平な職務の執行にもとる行為であり、このような支出を可能としてしまった管理体制、職員のID・パスワードの管理ができていないこと、正規の決裁過程を経ていないものの処理、さらにチェック体制の不備など、多大な問題があった、と痛感しております。

今後、プロジェクトチームにより、早急に原因究明を行うとともに、二度とこのような事案が発生しないよう、検証と再発防止の徹底を図り、市政に対する市民の皆様からの信頼回復に、全力で取り組んでまいります。